

2 第3次大館市障害者計画（案）についてのパブリックコメントの（意見募集）結果

第3次大館市障害者計画（案）についてのパブリックコメント（意見募集）の結果は、次のとおりです。

- 1 募集期間 平成29年3月1日（水）から平成29年3月15日まで（水）まで
- 2 資料閲覧場所 大館市ホームページ、大館市福祉部福祉課、比内総合支所市民生活係
田代総合支所市民生活係
- 3 意見提出方法 郵送、ファックス、電子メール
- 4 意見提出者数 2人
- 5 意見件数 4件
- 6 意見の内容と市の考え方

意見No.	意見の内容	市の考え方
1	施設入所系サービスは、絶対数不足している。ただ、サービスを利用するにあたってのサービスへの理解が薄く、道筋がきちんとしていない。現在、相談支援センター等が利用者と事業所との仲介の役割を担っていると思うが、相談員数も不足していると感じる。介護保険のケアマネージャーのシステムを見習う必要があると思う。	市では、相談支援の充実、相談支援体制の強化を図るため、平成26年度から基幹相談支援センターを開設しております。 センターに寄せられる相談件数の状況は、26年度1,326件、27年度2,257件、28年度2,328件（2月末現在）となっており、相談内容も多種多様な内容となっています。 今後も地域の相談機関（相談支援事業者、身体障害者相談員、知的障害者相談員、民生委員、保健・医療、教育・就労等に関する各種の相談機関等）との連携しながら、障害のある人が身近な地域で相談ができ、最適なサービスを受けることができるよう、相談支援体制の充実を図ります。
2	施設入所系サービスの不足については、国では地域移行の方針ではあるが、実際は施設やGHへの入所のニーズが高いと思う。また、現在GH入居者で高齢の方々の行先として、国では共生サービスにて介護保険サービスの指定を取得しやすくして・・・と言っているが、事実受け皿がない事を認識しているのか疑問である。	市内の居住系サービスの利用者の状況は、ここ数年満床の状態が続いています。 障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、その受け皿となる基盤整備が重要な課題となっています。 今後も障害者計画及び障害福祉計画に沿ってグループホーム等の整備を計画的に進めます。

<p>3</p>	<p>国の政策で「地域共生社会」の実現に向けて、「我が事」・「丸ごと」の地域づくりとの事であるが、現実的に一般社会での障害に対する認識が薄いのが大きな問題ではないでしょうか、「障害福祉に関するアンケート調査」は障害のある方とその家族への調査だと思いますが、一般の住民の方々への障害に対する認識や考え方等のアンケートを実施してもよいのではないかと思います。</p>	<p>市では、平成29年度中に行政の取り組みについて「満足度」および「重要度」を調査するため、世論調査「大館市世論調査『あなたが採点する行政の通信簿』」を実施する予定となっております。</p> <p>予定されている調査項目等に障害福祉に関する事項を記載し、市民の意識等を把握し、障害福祉施策に反映させます。</p>
<p>4</p>	<p>生活介護事業 重度利用者が増加の一途をたどる現状において人員配置基準の職員数では十分な介護ができないでいます。配置基準以上の職員配置について市からの補助をお願いしたい。</p>	<p>重度者への良質なサービスを提供するためには、サービス提供事業者が安定して事業を運営していくことができる状況が必要であると考えます。</p> <p>サービス提供事業者の経営基盤の安定化を図るための措置等について、他市の状況を調査し、検討します。</p> <p>また、様々な機会を通じて国、県に要望等を行っていきます。</p>